



大学生30人と住民が協力して創り上げた交流の場、うっそうとしていた竹林が生まれ変わりました。

# そんな福智は、 夢のような 場所でした。

大学生×住民×バンブー



## 東京・福岡の大学生が竹林を大・大・大改造！

町外の大学生が企画運営するバンブースペースプロジェクトが8月4日と5日に開催されました。このイベントは、東京在住で福智町草場(市場)出身の日高将博(ひたかみまさひろ)さんが、実家の眠っている竹林を町のため有効活用したいと思い立ったのがきっかけ。東京と福岡の大学生に相談し、賛同した大学生らと3か月かけて準備を進めました。イベントのシンボルとして創った「ツリーハウス」をはじめ、自然と音楽が融合した「森の音楽祭」、地元食材を使った「舞台」やおしゃれな「カフェ&バー」、「アートのスペース」から「星空シネマ」まで、全て竹を使ってしつらえ。企画から運営までこだわった学生たちの情熱が、地元住民の協力を得てカタチになりました。

### このつながりと継続を力に

東京参加メンバーのリーダーを務め、イベントをおとして僕自身成長できました。昨年からの積み重ねてきた福智町との関係を継続し、今後は、東京のイベントで町のPRもしていきたいと考えています。



明治大学[東京]  
情報処理学部 3年  
星出 康平さん  
(飯塚市出身)

### 福智町は夢が実現できる場所

建築を勉強していて、会場のデザインを担当しました。福智町は大学で学んでいることを形にし、やってみたいことができる夢のような場所。東京にはないココにしかない良さが福智にはあります。



武蔵野美術大学[東京]  
建築学科 4年  
鶴元 怜一郎さん  
(北九州市出身)



### ツリーハウスづくりで学生を指導

宮大工として長年活躍していた赤星勇(あかほしゆう)さんが、3か月かけて学生を指導しツリーハウスを制作。イベント初日、大学生から感謝の寄せ書きが渡され「学生の志に感動した。一緒に進める作業はとても清々しかった」とふり返りました。

### 地元のみなさんの理解に感謝

赤星さんと一緒に「ツリーハウス」制作に携わることができ、良い経験となりました。地域イベントは地元の人々の理解が一番大切。町外から来た私達を心よく受け入れてくださり、感謝しています。



西南学院大学[福岡]  
児童教育学科 2年  
井上 梨央さん  
(福岡市出身)

# Bamboo



Chapter 2 Fukuchi Bamboo Space Project  
フケチバンブースペースプロジェクト



この町を知らなかった大学生が、何もなかった竹林を舞台にプロジェクトを展開。「自由な発想の学生たちとこの町を盛り上げたい」。そんな一人の地元出身者の思いが学生たちの心を動かし、ここにしかない空間を創り上げました。

イベント前日、ツリーハウスの補強をするイベント主催者の日高将博さん(手前)と東京から来た大学生たち。今回「町に残るものを創りたい」という思いからツリーハウスを制作。5月から7月まで月2回、福岡市に住む大学生が福智町を訪れ、コツコツと作りあげていきました。